

兵庫医科大学 薬学部・看護学部・リハビリテーション学部の教務に関する規程

(目的)

第1条 この規程は兵庫医科大学学則（以下「学則」という。）に基づき、本学薬学部、看護学部及びリハビリテーション学部（以下「各学部」という。）における授業科目（以下「科目」という。）の履修、試験及び進級に関する必要な事項を定める。

(科目及び単位数)

第2条 科目及び単位数は、学則の定めるところによる。

② 他大学（短期大学及び高等専門学校を含む。）並びに本学他学部において修得した単位数（入学前の既修得単位を含む。）については、その一部又は全部を、学長が各学部教授会（以下「教授会」という。）の意見を聴いて、各学部において修得及び履修したのものとして承認することがある。

(授業の実施)

第3条 科目は、別表のとおり薬学部については第1学年次から第6学年次に配分して、看護学部及びリハビリテーション学部については第1学年次から第4学年次に配分して授業する。

② 各学年での科目の実施の時期、曜日、時限及び担当者等は、学長が教授会の意見を聴いて決定し、学年のはじめに告示する。

③ 一科目毎に、科目責任者を置く。

(授業時限)

第4条 講義及び演習においては、90分間の連続をもって1時限とする。なお、学年を通じての時限配当を次のとおり定める。

第1時限 9時30分より11時00分

第2時限 11時10分より12時40分

第3時限 13時40分より15時10分

第4時限 15時20分より16時50分

第5時限 17時00分より18時30分

第6時限 18時40分より20時10分

② 実験、実習及び実技における授業時間は、前項に準ずる。

③ 科目責任者は、実験、実習及び実技の開始又は終了時刻を他の科目に影響の及ばない範囲で、時限に関係なく変更することができる。

(履修の要件)

第5条 学生は、所属する学年次に配当された科目を履修する。

② 1年間に履修できる科目の単位数の上限は、原則として47単位とする。

(学級の編成)

第6条 科目によっては、各学年次を、2学級以上に編成して授業を行うことがある。この場合、学生は、指定された学級で授業を受けなければならない。

(選択科目)

第7条 選択して履修することが認められている科目（以下「選択科目」という。）の履修を希望する学生は、所定の期日までに、履修登録を完了しなければならない。

② 同一時限に開講時期を重複して2科目以上開講される選択科目の履修は、1科目のみとする。

③ 選択科目については、履修する学生の人数を制限することがある。

(成績の評価)

第8条 科目の成績評価は、責任者が、試験、平常の成績及び成果物等により行う。

② 科目の評価基準は、80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可、60点未満を不可とする。

③ 前項の評価に対して、Grade Point (以下「GP」という。)を定め、GPの平均値であるGrade Point Average (以下「GPA」という。)を算出する。GP及びGPAについては、別に定める。

④ 成績評価の基準は、次に掲げるとおりとする。

| 原成績(素点) | 評価 | 成績評価基準 | f-strict GP | general GP |
|----------|----|----------------------|-------------|------------|
| 100点～90点 | 優 | 達成目標に到達し、優秀な成績を修めている | 4.5～2.5 | 4.0 |
| 89点～80点 | | | | 3.0 |
| 79点～70点 | 良 | 達成目標に到達している | 2.4～1.5 | 2.0 |
| 69点～60点 | 可 | 達成目標に最低限到達している | 1.4～0.5 | 1.0 |
| 59点～ | 不可 | 達成目標に到達していない | 0.0 | 0.0 |
| 認定 | 認定 | 定められた学修水準に到達している | — (GP対象外) | — (GP対象外) |

(成績の評価を受ける資格)

第9条 前条に規定する成績の評価を受けることができる者は、講義については出席時間数が授業実施時間数の3分の2以上とし、実験、実習については、出席時間数が授業実施時間数の5分の4以上とする。ただし、次の各項に該当する場合は、授業実施時間数に含まないものとする。

1 親族の死亡により次の忌引期間に該当したとき

イ 配偶者の場合は、死亡した日から起算して連続7日(休日を含む。)の範囲内の期間

ロ 父母、子(1親等)の場合は、死亡した日から起算して連続7日(休日を含む。)の範囲内の期間

ハ 祖父母、兄弟姉妹、孫(2親等)の場合は、死亡した日から起算して連続3日(休日を含む。)の範囲内の期間

2 学校保健安全法等の法令により、出席が停止されているとき

(試験の実施)

第10条 試験は定期試験、追試験、再試験、その他各学部で成績評価のために行われる全ての試験並びに薬学共用試験とする。

(定期試験)

第11条 定期試験は、原則として授業終了後の適当な時期に実施するが、科目責任者の判断により当該科目開講期間内で実施することがある。

(定期試験の受験資格)

第12条 学生は次の各号のいずれかに該当するとき、定期試験を受けることができない。

1 試験を受けようとする科目の出席時間数が、第9条に規定する条件に満たないとき

2 選択科目については、第7条第1項に規定する履修登録を完了していないとき

- 3 授業料等、学費の納入がなされていないとき
 - 4 休学しているとき、又は学則第 62 条による停学処分を現に受けているとき
- (追試験)

第 13 条 学生が、定期試験を次の理由により受験することができなかつたときは、追試験を受けることができる。

- 1 学校保健安全法等の法令により、出席が停止されているとき
 - 2 試験実施日が第 9 条に規定する忌引期間又は出席停止期間に該当したとき
 - 3 電車、バス等の事故によるとき
 - 4 その他前号に準ずる十分な理由があると認められたとき
- ② 追試験を受けようとする者は、当該科目の試験終了後 1 週間以内に追試験願を学長に願ひ出て、許可を受けなければならない。追試験の評価は、原則として、その試験成績の 80%とする。
- ③ 追試験願には、当該試験を受験できなかつた事由を証明する書類を添付しなければならない。

(再試験)

第 14 条 第 8 条に規定する成績の評価が合格に達しなかつた者については、再試験を実施することがある。

- ② 再試験の実施時期については、科目責任者が決定する。
- ③ 再試験に合格したときの成績は、60 点とする。
- ④ 再試験を受ける者は、再試験実施前までに定められた再試験受験料を納入しなければならない。

(薬学共用試験)

第 15 条 薬学共用試験は薬学部において全国薬系大学を対象に実施する第 5 学年次専門分野実習に必要な基本的専門能力(知識・技能・態度)を評価する試験とする。

- ② 薬学共用試験は、実務実習開始前の適当な時期に実施する。
- ③ 薬学共用試験の合格の基準については、学長が決定する。

(成果物の提出)

第 16 条 学生は、レポート等成果物の提出にあたっては、指示された様式に従って指定された期日までに、提出しなければならない。

(受験)

第 17 条 学生は、試験場においては、指示された座席で受験し、試験監督者の指示に従わなければならない。

- ② 学生は、試験場においては、次の規定を守らなければならない。
 - 1 学生証を携行し、机上におくこと
 - 2 受験のために使用を許可されたもの以外の物品は、指示された場所におくこと
 - 3 試験中の発言は、試験監督者の許可を得ること
 - 4 配付された答案用紙等は、退出の際に必ず提出すること
 - 5 その他、学生は別に定める各学部の全ての試験において守るべき注意事項「受験心得」を遵守しなければならない。
- ③ 遅刻者は、原則として受験を認めない。ただし、試験監督者の判断により、遅刻の事由がやむを得ないと認められた場合は受験を認めるが、試験時間は延長しない。
- ④ 試験開始後は、原則として、試験終了時刻まで退室を認めない。
- ⑤ 口頭試験の受験は、筆記試験に準じる。

(不正行為の禁止と処分)

第 18 条 試験中試験監督者が、学生の不正行為（準備及び他人の不正行為の援助を含む。）を発見し、その事実を確認したときは、直ちに当該学生の受験を停止し、試験場外へ退出させる。

- ② 前項を適用された学生は、学年中の当該学期に履修している全ての科目の評価を無効とし、単位を付与しないものとする。
- ③ 不正行為を行った学生に対する前項以外の処分については学則第 62 条を適用する。
- ④ 不正行為の処分対象者は、同行為に係わった全ての者とする。
- ⑤ 試験終了後においても、不正行為が発見され、その事実を確認されたときは、第 2 項から第 4 項の規定を適用する。
- ⑥ 再試験受験票の複写・偽装等の不正行為が発見され、その事実が確認されたときは、第 2 項から第 4 項の規定を適用する。

(進級の資格)

第 19 条 各学年次の進級について、当該学年次に配当されている科目のうち、全ての必修科目及び進級に必要な選択科目の単位数について合格の判定を受けた者が新学年の始めに次の学年に進級することができる。

- ② 第 1 項又は第 4 項の基準に達しなかった者のうち、学長が教授会の意見を聴いて、教育上有益と認めた場合、特に進級させることがある。
- ③ 前項により進級させた者の、合格に達しなかった科目については、原則として、再履修しなければならない。
- ④ 薬学部においては、第 1 項に加え薬学共用試験の合格の判定をもって新学年の始めに次の学年に進級することができる。

(留年者の取り扱い)

第 20 条 進級又は卒業の認定を受けられなかった者は、同一学年次に留まる。

- ② 留年者は、当該学年次までの科目のうち、必修科目においては合格に達していなかった科目を全て再履修しなければならない。また、選択科目においては、進級に必要な最低取得すべき単位数を取得しなければならない。
- ③ カリキュラム改編に伴い、当該学年次の所定の科目以外に教授会で審議のうえ特に教育上必要と認められた科目については、履修しなければならない。

(聴講生、科目等履修生、外国人留学生への準用)

第 21 条 聴講生、科目等履修生及び外国人留学生の科目の履修については、本規程を準用する。

(事務)

第 22 条 この規程に関する事務は、大学事務部が行う。

(規程の改廃)

第 23 条 この規程の改廃は、学長が発議し、教授会及び大学運営会議の意見を聴いて常務会が行う。

附 則

この規程は、2022 年 4 月 1 日から施行する。

別表

(薬学部 医療薬学科) ※令和4年度(2022年度)入学生用

| 科目 区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | 備考 |
|----------------------------|----------------------------------------------------------|------------------|-----|----|----|
| | | | 必修 | 選択 | |
| 基礎分野 | ラ ン シ ー の リ テ ラ ー 大 学 生 | アカデミックリテラシー | 1 | 2 | |
| | | 医療概論 | 1 | 1 | |
| | | 小計(2)科目 | — | 3 | 0 |
| | 導 入 教 育 科 目 | 化学入門 | 1 | 2 | |
| | | 物理化学入門Ⅰ | 1 | 1 | |
| | | 物理化学入門Ⅱ | 1 | 1 | |
| | | 生物学入門 | 1 | 2 | |
| | | 薬学入門Ⅰ(薬剤師の使命) | 1 | 1 | |
| | | 薬学入門Ⅱ(薬と病気の科学) | 1 | 1 | |
| | | 計算演習 | 1 | 1 | |
| | 小計(7)科目 | — | 9 | 0 | |
| | 基 礎 科 目 | 健康スポーツ科学Ⅰ | 1 | 1 | |
| | | 健康スポーツ科学Ⅱ(理論を含む) | 1 | 1 | |
| | | 統計学 | 1 | | 2 |
| | | 心理学 | 1 | 2 | |
| | | 哲学 | 1 | | 2 |
| | | 人間発達学 | 1 | | 2 |
| | | 生命・医療倫理学 | 1 | 2 | |
| | | 芸術学 | 1 | | 2 |
| | | 社会学 | 1 | | 2 |
| 臨床心理学(カウンセリング論を含む) | | 1 | | 2 | |
| 教育学 | | 1 | | 2 | |
| 法学(日本国憲法を含む) | | 1 | | 2 | |
| 小計(12)科目 | — | 6 | 16 | | |
| 外 国 語 | 基礎英語 | 1 | 2 | | |
| | 英語会話 | 1 | 2 | | |
| | 科学英語 | 2 | | 2 | |
| | 応用英語 | 2 | | 2 | |
| | 中国語* | 1 | | 2 | |
| | 韓国語* | 1 | | 2 | |
| 小計(6)科目 | — | 4 | 8 | | |
| 臨 床 体 験 | 早期臨床体験実習 | 1 | 1 | | |
| | 小計(1)科目 | — | 1 | 0 | |
| 専 門 基 礎 分 野 | 薬学英語Ⅰ | 2 | 1 | | |
| | 薬学英語Ⅱ | 4 | 1 | | |
| | 臨床論文評価学入門(英文読解) | 4 | 1 | | |
| | 医療コミュニケーション | 3~4 | 1 | | |
| | チーム医療概論 | 2 | 1 | | |
| | 看護論 | 3 | 1 | | |
| | 総合リハビリテーション論 | 3 | 1 | | |
| | チーム医療論演習 | 4 | 1 | | |
| | チュートリアル | 3 | 1 | | |
| 社会福祉学 | 2 | 2 | | | |

| 科目 区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | 備考 |
|------------|-------------|------------------------|-----|------|----|
| | | | 必修 | 選択 | |
| | ユニバーサルデザイン論 | 1 | 1 | | |
| | 科学計算演習 | 1 | 1 | | |
| | 医療統計学 | 4 | 1 | | |
| | 小計 (13) 科目 | — | 14 | 0 | |
| 専門 分野 | 物理系薬学 | 物理化学Ⅰ (物質の構造) | 2 | 1 | |
| | | 物理化学Ⅱ (物質の性質) | 2 | 1 | |
| | | 物理化学Ⅲ (エネルギーと平衡) | 3 | 2 | |
| | | 構造生物化学 | 3・4 | | 1 |
| | | アドバンスト物理化学 | 4・6 | | 1 |
| | | 分析化学Ⅰ (無機錯体化学) | 1 | 1 | |
| | | 分析化学Ⅱ (容量分析) | 2 | 1 | |
| | | 分析化学Ⅲ (分光分析) | 2 | 1 | |
| | | 分析化学Ⅳ (重量分析・定性分析・分離分析) | 2 | 1 | |
| | | 分析化学Ⅴ (臨床分析・画像診断) | 3 | 1 | |
| | | 物理系薬学実習 | 2 | 1.5 | |
| | | 小計 (11) 科目 | — | 10.5 | 2 |
| 専門 分野 | 化学系薬学 | 基礎有機化学Ⅰ (基礎と立体化学等) | 1 | 1 | |
| | | 基礎有機化学Ⅱ (基本的な有機反応) | 1 | 1 | |
| | | 有機化学Ⅰ (基礎とアルカン等) | 2 | 2 | |
| | | 有機化学Ⅱ (求核置換等) | 2 | 2 | |
| | | 有機化学Ⅲ (求電子置換等) | 3 | 2 | |
| | | 医薬品化学 | 3 | 2 | |
| | | 創薬化学 | 4・6 | | 1 |
| | | アドバンスト有機化学 | 3・4 | | 1 |
| | | 薬用資源学 | 3 | 1 | |
| | | 化学構造解析学 | 3 | 1 | |
| | | 天然薬物学 | 2 | 1 | |
| | | 天然物化学 | 2 | 1 | |
| | | 化粧品科学 | 4・6 | | 1 |
| | | 有機化学実習 | 2 | 1 | |
| | | 天然薬物学実習 | 3 | 1 | |
| 小計 (15) 科目 | — | 16 | 3 | | |
| 専門 分野 | 生物系薬学 | 生物化学Ⅰ (生物を構成する物質) | 1 | 1 | |
| | | 生物化学Ⅱ (細胞とセントラルドグマ) | 1 | 1 | |
| | | 生物化学Ⅲ (酵素とタンパク質) | 2 | 1 | |
| | | 生物化学Ⅳ (情報伝達のしくみ) | 2 | 1 | |
| | | 生物化学Ⅴ (エネルギーを得るしくみ) | 2 | 1 | |
| | | 生物化学Ⅵ (分子生物学、遺伝子工学) | 3 | 1 | |
| | | 糖鎖生物学 | 4・6 | | 1 |
| | | 糖鎖創薬学 | 4・6 | | 1 |
| | | アドバンスト生物化学 | 3・6 | | 1 |
| | | 生理化学Ⅰ (細胞) | 1 | 1 | |
| | | 生理化学Ⅱ (造血・呼吸) | 1 | 1 | |
| | | 生理化学Ⅲ (循環・消化) | 2 | 1 | |

| 科目 区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | 備考 |
|----------|--------------------------|------------------|--------|----|----|
| | | | 必修 | 選択 | |
| 専門分野 | | 生理化学Ⅳ（神経・運動等） | 2 | 1 | |
| | | 生理化学Ⅴ（感覚・内分泌等） | 2 | 1 | |
| | | 免疫学 | 2 | 2 | |
| | | バイオ医薬品とゲノム情報 | 3 | 2 | |
| | | 腫瘍生物学 | 4・6 | | 1 |
| | | 病理学概論 | 4 | 1 | |
| | | 生物薬学実習 | 2 | 1 | |
| | | 生理解剖学実習 | 3 | 1 | |
| | | 小計（20）科目 | — | 18 | 4 |
| | | 衛生薬学 | 感染症学入門 | 2 | 1 |
| | 感染症学Ⅰ（細菌・真菌感染症および寄生虫症など） | | 2 | 1 | |
| | 感染症学Ⅱ（ウイルス感染症およびプリオン病など） | | 2 | 1 | |
| | 感染症治療学 | | 3 | 1 | |
| | 感染制御学 | | 3・6 | | 1 |
| | 公衆衛生学 | | 4 | 2 | |
| | 衛生化学Ⅰ（環境衛生学） | | 2 | 2 | |
| | 衛生化学Ⅱ（栄養学・食品衛生学） | | 3 | 2 | |
| | 毒性学 | | 3 | 1 | |
| | 医薬品安全性学 | | 4 | 2 | |
| | 放射化学 | | 4 | 1 | |
| 医薬品開発学 | 4 | | 1 | | |
| 薬物相互作用学 | 4・6 | | | 1 | |
| ペット医薬品学 | 4・6 | | | 1 | |
| 衛生薬学実習 | 3 | 1 | | | |
| 小計（15）科目 | — | 16 | 3 | | |
| 薬理学 | 薬理学Ⅰ（基礎と神経系） | 2 | 2 | | |
| | 薬理学Ⅱ（循環器系等） | 3 | 2 | | |
| | 薬理学Ⅲ（内分泌系等） | 3 | 1 | | |
| | 薬理学実習 | 3 | 1 | | |
| | 小計（4）科目 | — | 6 | 0 | |
| 病態薬物治療学 | 臨床医学入門 | 2 | 1 | | |
| | 薬物治療学Ⅰ（血液・消化器・生殖器疾患等） | 3 | 2 | | |
| | 薬物治療学Ⅱ（心臓・血管系疾患等） | 3 | 2 | | |
| | 薬物治療学Ⅲ（精神疾患等） | 3 | 2 | | |
| | アドバンスト薬物治療学 | 4・6 | | 1 | |
| | 東洋医学入門 | 1 | 1 | | |
| | 漢方治療学 | 4 | 2 | | |
| | 漢方方剤学 | 4・6 | | 1 | |
| | 漢方薬理学 | 4・6 | | 1 | |
| | 臨床診断学 | 4 | 2 | | |
| | 小計（10）科目 | — | 12 | 3 | |
| | 薬態学 | 臨床ゲノム薬理学 | 4 | 1 | |
| | | 臨床薬効評価学 | 4・6 | | 1 |
| | | 薬物動態学Ⅰ（薬物の生体内運命） | 2 | 2 | |

| 科目 区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | 備考 | |
|----------------------|-----------------------|-----------|-------|----|----|--|
| | | | 必修 | 選択 | | |
| | 薬物動態学Ⅱ（薬物速度論，TDMを含む） | 3 | 2 | | | |
| | 理論薬剤学 | 2 | 2 | | | |
| | 製剤学Ⅰ（剤形、プロドラッグ） | 3 | 2 | | | |
| | 製剤学Ⅱ（製剤総則） | 3 | 1 | | | |
| | 先端医療薬剤学 | 3・6 | | 1 | | |
| | 薬剤・調剤学実習 | 3 | 1 | | | |
| | 薬物動態学実習 | 3 | 1 | | | |
| | 小計（10）科目 | — | 12 | 2 | | |
| | 臨床薬学 | 実務実習事前学習Ⅰ | 3 | 1 | | |
| | | 実務実習事前学習Ⅱ | 4 | 2 | | |
| 実務実習事前学習Ⅲ | | 4 | 2 | | | |
| 薬剤経済学 | | 4 | 1 | | | |
| 薬事関係法規・薬事制度 | | 4 | 1 | | | |
| 新薬局論（薬学教育改革のエンドポイント） | | 4・6 | | 1 | | |
| 機能食品学 | | 2・6 | | 1 | | |
| 医薬品情報学 | | 4 | 2 | | | |
| コミュニティーファーマシー | | 4 | 2 | | | |
| 医療安全管理 | | 4 | 1 | | | |
| 化学療法学 | | 4 | 1 | | | |
| セルフメディケーション | | 4 | 1 | | | |
| 処方解析演習 | | 4 | 1 | | | |
| 輸液栄養学 | | 4 | 1 | | | |
| 救急・災害医療 | 4・6 | | 1 | | | |
| 小計（15）科目 | — | 16 | 3 | | | |
| 薬局実習 病院・ | 病院実務実習 | 4～5 | 10 | | | |
| | 薬局実務実習 | 4～5 | 10 | | | |
| | 小計（2）科目 | — | 20 | 0 | | |
| 研究実習・演習 | 研究実習（課題解決型薬学研究・基礎と応用） | 4～5 | 12.5 | | | |
| | 研究研修（課題解決型薬学研究・発展） | 6 | 2.5 | | | |
| | 基礎薬学演習 | 4 | 1 | | | |
| | 総合演習Ⅰ | 6 | 2.5 | | | |
| | 総合演習Ⅱ | 6 | 2.5 | | | |
| | 小計（5）科目 | — | 21 | 0 | | |
| 合計（148）科目 | | — | 184.5 | 44 | | |

卒業要件及び履修方法

基礎分野：必修 23 単位、選択 6 単位以上（うち選択必修科目 2 単位を含む。）、
 専門基礎分野：必修 14 単位、
 専門分野：必修 147.5 単位、選択 5 単位以上、
 計必修 184.5 単位、選択 11 単位以上の合計 195.5 単位以上を卒業要件とする。

別表

(看護学部 看護学科) ※令和4年度(2022年度)入学生用

| 科目 区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | 備考 | |
|----------|---------|------------------|-----|----|---------|--|
| | | | 必修 | 選択 | | |
| 基礎分野 | 人間と言葉 | 基礎英語 | 1 | 2 | *選択必修科目 | |
| | | 英語会話 | 1 | 2 | | |
| | | 科学英語 | 2 | 2 | | |
| | | 応用英語 | 2 | 2 | | |
| | | 中国語 * | 1 | 2 | | |
| | | 韓国語 * | 1 | 2 | | |
| | 小計(6)科目 | — | 4 | 8 | | |
| | 人間と文化 | 芸術学 | 1 | | 2 | |
| | | アカデミックリテラシー | 1 | 2 | | |
| | | 健康スポーツ科学Ⅰ | 1 | 1 | | |
| | | 健康スポーツ科学Ⅱ(理論を含む) | 1 | 1 | | |
| | | 国際比較文化論 | 1 | | 2 | |
| | 小計(5)科目 | — | 4 | 4 | | |
| | 人間と社会 | 生命・医療倫理学 | 1 | 2 | | |
| | | 哲学 | 1 | | 2 | |
| | | 法学(日本国憲法を含む) | 1 | | 2 | |
| | | 教育学 | 1 | | 2 | |
| | | 社会学 | 1 | | 2 | |
| | | 人間発達学 | 1 | | 2 | |
| | 小計(6)科目 | — | 2 | 10 | | |
| | 人間と科学 | 数理科学入門 | 1 | | 2 | |
| | | 化学と生命 | 1 | | 2 | |
| | | 生物学 | 1 | | 2 | |
| | | 心理学 | 1 | | 2 | |
| | | 情報の科学 | 1 | 2 | | |
| | | 科学論 | 1 | | 1 | |
| | | 医療概論 | 1 | 1 | | |
| 統計学 | | 1 | 2 | | | |
| 早期臨床体験実習 | | 1 | 1 | | | |
| 小計(9)科目 | | — | 6 | 9 | | |
| 専門基礎分野 | 人間と健康 | 形態機能学Ⅰ(運動器・神経系) | 1 | 2 | | |
| | | 形態機能学Ⅱ(循環器・内臓系) | 1 | 2 | | |
| | | 看護形態機能学 | 1 | 1 | | |
| | | 生化学 | 1 | 1 | | |
| | | 病理学 | 2 | 1 | | |
| | | 疾病・治療論Ⅰ(内科) | 2 | 1 | | |
| | | 疾病・治療論Ⅱ(外科) | 2 | 1 | | |
| | | 疾病・治療論Ⅲ(精神/老年) | 2 | 1 | | |
| | | 疾病・治療論Ⅳ(母性/小児) | 2 | 1 | | |
| | | 医療遺伝学 | 2 | | 1 | |
| | | 免疫学(含微生物学) | 1 | 1 | | |
| | | 薬理学 | 2 | 1 | | |

| 科目 区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | 備考 | |
|----------------|--------------------|-----------------|--------|----|----|--|
| | | | 必修 | 選択 | | |
| | 栄養学 | 2 | 1 | | | |
| | 臨床心理学（カウンセリング論を含む） | 2 | | 2 | | |
| | 小計（14）科目 | — | 14 | 3 | | |
| 専門基礎分野 | 環境と健康 | 公衆衛生学 | 2 | 2 | | |
| | | 疫学 | 3 | 2 | | |
| | | 保健統計学 | 2 | 1 | | |
| | | 小計（3）科目 | — | 5 | 0 | |
| | 人間と環境 | 社会福祉学 | 1 | 2 | | |
| | | 保健医療福祉行政論 | 2 | 2 | | |
| | | 食品・環境論 | 1 | | 2 | |
| | | 国際医療福祉論 | 1・2 | | 1 | |
| | | 地域ボランティア論 | 4 | | 1 | |
| | 小計（5）科目 | — | 4 | 4 | | |
| | チーム医療 | 医療コミュニケーション論 | 1 | 2 | | |
| | | チーム医療概論 | 2 | 1 | | |
| | | 総合リハビリテーション論 | 3 | | 1 | |
| | | 薬学概論 | 3 | | 1 | |
| | | チーム医療論演習 | 4 | 1 | | |
| | | 多職種連携実習 | 4 | | 1 | |
| | 小計（6）科目 | — | 4 | 3 | | |
| | 専門分野 | 基盤看護学 | 看護学概論Ⅰ | 1 | 1 | |
| 看護学概論Ⅱ | | | 4 | 1 | | |
| 基礎看護方法論 | | | 1 | 1 | | |
| 基礎看護技術Ⅰ（生活援助） | | | 1 | 2 | | |
| 基礎看護技術Ⅱ（治療援助） | | | 2 | 2 | | |
| 基礎看護技術Ⅲ（看護過程） | | | 2 | 2 | | |
| セイフティマネジメント | | | 2 | 1 | | |
| 感染看護論 | | | 4 | | 1 | |
| 看護マネジメント | | | 4 | 1 | | |
| 看護キャリア開発論 | | | 4 | | 1 | |
| 看護学教育論 | | | 4 | | 1 | |
| 基礎看護学実習Ⅰ（生活援助） | | | 1 | 1 | | |
| 基礎看護学実習Ⅱ（看護過程） | | | 2 | 2 | | |
| 小計（13）科目 | | — | 14 | 3 | | |
| 療養支援看護学 | | 成人看護学概論 | 2 | 2 | | |
| | | 急性看護援助論 | 2 | 2 | | |
| | | 慢性看護援助論 | 2 | 2 | | |
| | | がん看護援助論（含終末期看護） | 3 | 2 | | |
| | | 成人看護技術演習 | 3 | 1 | | |
| | クリティカルケア論 | 4 | | 1 | | |
| | 代替療法と看護 | 4 | | 1 | | |
| | 成人看護学実習Ⅰ（急性） | 3 | 3 | | | |
| 成人看護学実習Ⅱ（慢性） | 3 | 3 | | | | |
| 小計（9）科目 | — | 15 | 2 | | | |

| 科目 区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | 備考 | |
|---------------|--------------------------|------------------|-----|----------|----------|--|
| | | | 必修 | 選択 | | |
| | 精神看護学概論 | 2 | 2 | | | |
| | 精神看護援助論 | 3 | 2 | | | |
| | 学校保健と心の問題 | 4 | | 1 | | |
| | 精神看護学実習 | 3 | 2 | | | |
| | 小計(4)科目 | — | 6 | 1 | | |
| 専門分野 | 家族支援看護学 | 小児看護学概論 | 2 | 2 | | |
| | | 小児看護援助論Ⅰ | 2 | 1 | | |
| | | 小児看護援助論Ⅱ | 3 | 1 | | |
| | | 子育てと文化 | 2 | | 1 | |
| | | 小児看護学実習 | 3 | 2 | | |
| | | 小計(5)科目 | — | 6 | 1 | |
| | | 母性看護学概論 | 2 | 2 | | |
| | | 母性看護援助論 | 3 | 2 | | |
| | | ヒューマンセクシュアリティと看護 | 2 | | 1 | |
| | | 母性看護学実習 | 3 | 2 | | |
| | 小計(4)科目 | — | 6 | 1 | | |
| | 基礎助産学 | 4 | | 1 | | |
| | 助産診断技術学Ⅰ(周産期・新生児の健康診査)*a | 4 | | 3 | *a 助産師選択 | |
| | 助産診断技術学Ⅱ(助産診断実践過程)*a | 4 | | 3 | *a 助産師選択 | |
| | 助産管理*a | 4 | | 1 | *a 助産師選択 | |
| | 助産学実習*a | 4 | | 7 | *a 助産師選択 | |
| | 小計(5)科目 | — | 0 | 15 | | |
| | 生活支援看護学 | 老年看護学概論 | 2 | 2 | | |
| | | 老年看護援助論 | 2 | 1 | | |
| | | 老年看護技術演習 | 3 | 1 | | |
| 認知症ケア方法論 | | 4 | | 1 | | |
| 老年看護学実習 | | 3 | 3 | | | |
| 小計(5)科目 | | — | 7 | 1 | | |
| 公衆衛生看護学概論 | | 2 | 1 | | | |
| 公衆衛生看護活動論 | | 3 | 2 | | | |
| 公衆衛生看護方法論 | | 4 | | 2 | | |
| 公衆衛生看護管理論*b | | 4 | | 1 | *b 保健師選択 | |
| 公衆衛生看護方法論演習*b | 4 | | 3 | *b 保健師選択 | | |
| 公衆衛生看護学実習*b | 4 | | 4 | *b 保健師選択 | | |
| 小計(6)科目 | — | 3 | 10 | | | |
| | 地域・在宅看護論Ⅰ | 1 | 2 | | | |
| | 地域・在宅看護論Ⅱ | 2 | 2 | | | |
| | 地域・在宅看護援助論 | 3 | 2 | | | |
| | ケアマネジメント論 | 4 | | 1 | | |
| | 地域・在宅看護実習 | 3 | 2 | | | |

| 科目 区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | 備考 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|------|-----|----|----|
| | | | 必修 | 選択 | |
| | 小計 (5) 科目 | — | 8 | 1 | |
| 総合 | 研究方法論 | 3 | 1 | | |
| | 統合看護実習 | 4 | 3 | | |
| | 国際看護 | 4 | 1 | | |
| | 家族看護論 | 3 | | 1 | |
| | 災害看護 | 4 | 1 | | |
| | 看護研究セミナー | 4 | 2 | | |
| | 小計 (6) 科目 | — | 8 | 1 | |
| 合計 (116) 科目 | | — | 116 | 77 | |
| 卒業要件及び履修方法 | | | | | |
| <p>基礎分野：必修 16 単位、選択 8 単位以上（うち選択必修 2 単位を含む。）、専門基礎分野：必修 27 単位、選択 4 単位以上、専門分野：必修 73 単位、選択 5 単位以上、計必修 116 単位、選択 17 単位以上の合計 133 単位以上を卒業要件とする。但し、保健師選択者及び助産師選択者の国家試験受験資格に係る選択科目の履修方法については別途指示する。</p> | | | | | |

別表

(リハビリテーション学部 理学療法学科) ※平成 31 年度 (2019 年度) ~入学生

| 科目 区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 備考 |
|------------|-----------|---------------------|-----|----|----------|----|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 基礎分野 | 大学生のリテラシー | アカデミックリテラシー | 1 | 2 | | |
| | | 医療概論 | 1 | 1 | | |
| | | 小計 (2) 科目 | — | 3 | 0 | |
| | 導入教育科目 | 数理科学入門 | 1 | 2 | | |
| | | 生物学入門 | 1 | 2 | | |
| | | 小計 (2) 科目 | — | 4 | 0 | |
| | 基礎科目 | 健康スポーツ科学 I | 1 | 1 | | |
| | | 健康スポーツ科学 II (理論を含む) | 1 | 1 | | |
| | | 生物学 | 1 | | 2 | |
| | | 心理学 | 1 | 2 | | |
| | | 哲学 | 1 | | 2 | |
| | | 人間発達学 | 1 | | 2 | |
| | | 生命・医療倫理学 | 1 | 2 | | |
| | | 芸術学 | 1 | | 2 | |
| | | 社会学 | 1 | | 2 | |
| | | 臨床心理学 (カウンセリング論を含む) | 1 | 2 | | |
| | | 社会福祉学 | 1 | 2 | | |
| | | 教育学 | 1 | | 2 | |
| | | 法学 (日本国憲法を含む) | 1 | | 2 | |
| | | 化学と生命 | 1 | | 2 | |
| 科学論 | | 1 | | 1 | | |
| 情報の科学 | | 1 | | 2 | | |
| 地域ボランティア論 | | 4 | | 1 | | |
| 食品・環境論 | 1 | | 2 | | | |
| 小計 (18) 科目 | — | 10 | 22 | | | |
| 外国語 | 基礎英語 | 1 | 2 | | * 選択必修科目 | |
| | 英語会話 | 1 | 2 | | | |
| | 科学英語 | 2 | | 2 | | |
| | 応用英語 | 2 | | 2 | | |
| | 韓国語 * | 1 | | 2 | | |
| | 中国語 * | 1 | | 2 | | |
| 小計 (6) 科目 | — | 4 | 8 | | | |
| 臨床体験 | 早期臨床体験実習 | 1 | 1 | | | |
| | 小計 (1) 科目 | — | 1 | 0 | | |
| 専門基礎分野 | 基礎医学 | 解剖学 I | 1 | 1 | | |
| | | 解剖学 II | 1 | 1 | | |
| | | 解剖学実習 I | 2 | 1 | | |
| | | 解剖学実習 II | 2 | 1 | | |
| | | 生理学 I | 1 | 1 | | |
| | | 生理学 II | 1 | 1 | | |
| | | 生理学実習 | 2 | 1 | | |
| | | 病理学 | 2 | 1 | | |

| 科目 区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 備考 |
|-----------|-------------|---------------|-----|----|----|----|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| | | 運動学Ⅰ | 1 | 1 | | |
| | | 運動学Ⅱ | 2 | 1 | | |
| | | 運動学実習 | 2 | 1 | | |
| | | 運動発達論 | 2 | 1 | | |
| | | 小計 (12) 科目 | — | 12 | 0 | |
| | 臨床医学 | 一般臨床医学 | 3 | 1 | | |
| | | リハビリテーション医学 | 3 | 1 | | |
| | | 内科学Ⅰ | 2 | 1 | | |
| 内科学Ⅱ | | 2 | 1 | | | |
| 専門基礎分野 | 臨床医学 | 神経内科学Ⅰ | 2 | 1 | | |
| | | 神経内科学Ⅱ | 3 | 1 | | |
| | | 整形外科Ⅰ | 2 | 1 | | |
| | | 整形外科Ⅱ | 2 | 1 | | |
| | | 精神医学Ⅰ | 2 | 1 | | |
| | | 義肢装具学 | 2 | 1 | | |
| | | 臨床薬学 | 3 | 1 | | |
| | | 医療安全特論 | 3 | 1 | | |
| | | 救急・災害医療 | 4 | | 1 | |
| | | 総合スポーツ医学特論 | 4 | 1 | | |
| | | リハビリテーション実践特論 | 4 | 1 | | |
| | 小計 (15) 科目 | — | 14 | 1 | | |
| | 医療と社会 | リハビリテーション概論 | 1 | 1 | | |
| | | 看護論 | 3 | 1 | | |
| | | 薬学概論 | 3 | 1 | | |
| 公衆衛生学 | | 2 | 2 | | | |
| 医療統計学演習 | | 3 | 1 | | | |
| 医学英語 | | 3 | 1 | | | |
| 小計 (6) 科目 | — | 7 | 0 | | | |
| チーム医療 | チーム医療概論 | 2 | 1 | | | |
| | チーム医療論演習 | 4 | 1 | | | |
| | 多職種連携実習 | 4 | | 1 | | |
| | 小計 (3) 科目 | — | 2 | 1 | | |
| 専門分野 | 療法学 基礎理学 | 理学療法概論 | 1 | 2 | | |
| | | 基礎理学療法学 | 2 | 2 | | |
| | | 理学療法研究法 | 3 | 1 | | |
| | | バイオメカニクス | 1 | 2 | | |
| | | 小計 (4) 科目 | — | 7 | 0 | |
| | 理学 理学療法管 | 理学療法管理学 | 3 | 2 | | |
| | | 小計 (1) 科目 | — | 2 | 0 | |
| | 理学療法 評価学 | 体表解剖学実習 | 1 | 1 | | |
| | | 理学療法評価学 | 2 | 2 | | |
| | | 運動器系理学療法学Ⅰ | 2 | 1 | | |
| 神経系理学療法学Ⅰ | | 2 | 1 | | | |

| 科目 区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 備考 | |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-----------|-----|----|----|----|--|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | | |
| 理学療法治療学 | 内部障害理学療法 I | 3 | 1 | | | | |
| | 小計 (5) 科目 | — | 6 | 0 | | | |
| | 物理療法学 | 2 | 2 | | | | |
| | 物理療法学演習 | 3 | 1 | | | | |
| | 義肢装具学実習 | 3 | 1 | | | | |
| | 日常生活活動学 | 2 | 2 | | | | |
| | 日常生活活動学実習 | 3 | 1 | | | | |
| | 運動器系理学療法 II | 2 | 2 | | | | |
| | 運動器系理学療法実習 | 3 | 2 | | | | |
| | 神経系理学療法 II | 2 | 2 | | | | |
| | 神経系理学療法実習 | 3 | 2 | | | | |
| | 小児発達系理学療法演習 | 3 | 2 | | | | |
| | 内部障害理学療法 II | 3 | 2 | | | | |
| | 内部障害理学療法実習 | 3 | 2 | | | | |
| | 理学療法トピックス | 4 | 1 | | | | |
| スポーツ理学療法演習 | 4 | | 1 | | | | |
| 小計 (14) 科目 | — | 22 | 1 | | | | |
| 専門分野 | 地域理学療法学 | 地域理学療法学 | 3 | 2 | | | |
| | | 生活環境学 | 3 | 1 | | | |
| | | 小計 (2) 科目 | — | 3 | 0 | | |
| | 臨床実習 | 見学実習 I | 1 | 1 | | | |
| | | 見学実習 II | 2 | 1 | | | |
| | | 基礎臨床実習 | 3 | 3 | | | |
| | | 地域理学療法学実習 | 3 | 1 | | | |
| | | 総合臨床実習 I | 3・4 | 8 | | | |
| | | 総合臨床実習 II | 4 | 8 | | | |
| | 小計 (6) 科目 | — | 22 | 0 | | | |
| | 総合演習 | 卒業研究 | 4 | 3 | | | |
| | | 理学療法基礎演習 | 2 | 1 | | | |
| | | 理学療法総合演習 | 4 | 1 | | | |
| 小計 (3) 科目 | | — | 5 | 0 | | | |
| 合計 (100 科目) | | — | 124 | 33 | | | |
| 卒業要件及び履修方法 | | | | | | | |
| 基礎分野：必修 22 単位、選択 8 単位以上（うち選択必修 2 単位を含む。）、専門基礎分野：必修 35 単位、選択 1 単位以上、専門分野：必修 67 単位、計必修 124 単位、選択 9 単位以上の合計 133 単位以上を卒業要件とする。 | | | | | | | |

別表

(リハビリテーション学部 作業療法学科) ※平成 31 年度 (2019 年度) ~入学生

| 科目 区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 備考 |
|------------|-----------|---------------------|-----|----|----------|----|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 基礎分野 | 大学生のリテラシー | アカデミックリテラシー | 1 | 2 | | |
| | | 医療概論 | 1 | 1 | | |
| | | 小計 (2) 科目 | — | 3 | 0 | |
| | 導入教育科目 | 数理科学入門 | 1 | 1 | | |
| | | 生物学入門 | 1 | 2 | | |
| | | 小計 (2) 科目 | — | 3 | 0 | |
| | 基礎科目 | 健康スポーツ科学 I | 1 | 1 | | |
| | | 健康スポーツ科学 II (理論を含む) | 1 | 1 | | |
| | | 生物学 | 1 | | 2 | |
| | | 心理学 | 1 | 2 | | |
| | | 哲学 | 1 | | 2 | |
| | | 人間発達学 | 1 | | 2 | |
| | | 生命・医療倫理学 | 1 | 2 | | |
| | | 芸術学 | 1 | | 2 | |
| | | 社会学 | 1 | | 2 | |
| | | 臨床心理学 (カウンセリング論を含む) | 1 | 2 | | |
| | | 社会福祉学 | 1 | 2 | | |
| | | 教育学 | 1 | | 2 | |
| | | 法学 (日本国憲法を含む) | 1 | | 2 | |
| | | 化学と生命 | 1 | | 2 | |
| 科学論 | | 1 | | 1 | | |
| 情報の科学 | | 1 | | 2 | | |
| 地域ボランティア論 | | 4 | | 1 | | |
| 食品・環境論 | 1 | | 2 | | | |
| 小計 (18) 科目 | — | 10 | 22 | | | |
| 外国語 | 基礎英語 | 1 | 2 | | * 選択必修科目 | |
| | 英語会話 | 1 | 2 | | | |
| | 科学英語 | 2 | | 2 | | |
| | 応用英語 | 2 | | 2 | | |
| | 韓国語 * | 1 | | 2 | | |
| | 中国語 * | 1 | | 2 | | |
| 小計 (6) 科目 | — | 4 | 8 | | | |
| 臨床体験 | 早期臨床体験実習 | 1 | 1 | | | |
| | 小計 (1) 科目 | — | 1 | 0 | | |
| 専門基礎分野 | 基礎医学 | 解剖学 I | 1 | 1 | | |
| | | 解剖学 II | 1 | 1 | | |
| | | 解剖学実習 I | 2 | 1 | | |
| | | 解剖学実習 II | 2 | 1 | | |
| | | 生理学 I | 1 | 1 | | |
| | | 生理学 II | 1 | 1 | | |
| | | 生理学実習 | 2 | 1 | | |
| | | 病理学 | 2 | 1 | | |

| 科目 区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 備考 |
|----------|----------|---------------|-----|----|----|----|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| | | 運動学Ⅰ | 1 | 1 | | |
| | | 運動学Ⅱ | 2 | 1 | | |
| | | 運動学実習 | 2 | 1 | | |
| | | 運動発達論 | 2 | 1 | | |
| | | 小計（12）科目 | — | 12 | 0 | |
| | 臨床医学 | 一般臨床医学 | 3 | 1 | | |
| | | リハビリテーション医学 | 3 | 1 | | |
| | | 内科学Ⅰ | 2 | 1 | | |
| | | 内科学Ⅱ | 2 | 1 | | |
| | | 小計（6）科目 | — | 6 | 0 | |
| 専門基礎分野 | 臨床医学 | 神経内科学Ⅰ | 2 | 1 | | |
| | | 神経内科学Ⅱ | 3 | 1 | | |
| | | 整形外科Ⅰ | 2 | 1 | | |
| | | 整形外科Ⅱ | 2 | 1 | | |
| | | 精神医学Ⅰ | 1 | 1 | | |
| | | 精神医学Ⅱ | 2 | 1 | | |
| | | 義肢装具学 | 2 | 1 | | |
| | | 臨床薬学 | 3 | 1 | | |
| | | 医療安全特論 | 3 | 1 | | |
| | | 救急・災害医療 | 4 | | 1 | |
| | | 総合スポーツ医学特論 | 4 | | 1 | |
| | | リハビリテーション実践特論 | 4 | 1 | | |
| | 小計（16）科目 | — | 14 | 2 | | |
| | 医療と社会 | リハビリテーション概論 | 1 | 1 | | |
| | | 看護論 | 3 | 1 | | |
| | | 薬学概論 | 3 | 1 | | |
| 公衆衛生学 | | 2 | 2 | | | |
| 医療統計学演習 | | 3 | 1 | | | |
| 医学英語 | | 3 | 1 | | | |
| 小計（6）科目 | — | 7 | 0 | | | |
| チーム医療 | チーム医療概論 | 2 | 1 | | | |
| | チーム医療論演習 | 4 | 1 | | | |
| | 多職種連携実習 | 4 | | 1 | | |
| | 小計（3）科目 | — | 2 | 1 | | |
| 専門分野 | 基礎作業療法学 | 作業療法学概論Ⅰ | 1 | 1 | | |
| | | 作業療法学概論Ⅱ | 1 | 1 | | |
| | | 作業活動学実習Ⅰ | 1 | 1 | | |
| | | 作業活動学実習Ⅱ | 2 | 1 | | |
| | | 作業療法研究法 | 3 | 1 | | |
| | | 小計（5）科目 | — | 5 | 0 | |
| | 学 | 作業療法管理学Ⅰ | 3 | 1 | | |
| | | 作業療法管理学Ⅱ | 3 | 1 | | |
| | | 小計（2）科目 | — | 2 | 0 | |
| | 価学 | 作業療法評価学 | 1 | 1 | | |
| | | 作業療法評価学実習 | 2 | 1 | | |
| | | 身体系作業療法評価学 | 2 | 1 | | |

| 科目 区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 備考 | |
|----------------|--------------|---------------|-----|----|----|----|--|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | | |
| | 身体系作業療法評価学実習 | 2 | 1 | | | | |
| | 精神系作業療法評価学 | 2 | 1 | | | | |
| | 発達系作業療法評価学 | 2 | 1 | | | | |
| | 老年期作業療法評価学 | 2 | 1 | | | | |
| | 小計 (7) 科目 | — | 7 | 0 | | | |
| | 作業療法治療学 | 身体系作業療法治療学Ⅰ | 2 | 2 | | | |
| | | 身体系作業療法治療学Ⅱ | 3 | 2 | | | |
| | | 身体系作業療法治療学演習Ⅰ | 3 | 1 | | | |
| | | 身体系作業療法治療学演習Ⅱ | 3 | 1 | | | |
| | | 精神系作業療法治療学Ⅰ | 2 | 1 | | | |
| | | 精神系作業療法治療学Ⅱ | 3 | 1 | | | |
| | | 精神系作業療法治療学演習Ⅰ | 3 | 1 | | | |
| | | 精神系作業療法治療学演習Ⅱ | 3 | 1 | | | |
| | | 発達系作業療法治療学 | 3 | 2 | | | |
| | 発達系作業療法治療学演習 | 3 | 1 | | | | |
| | 作業療法治療学 | 老年期作業療法治療学 | 3 | 1 | | | |
| | | 認知系作業療法治療学 | 3 | 1 | | | |
| | | 認知系作業療法治療学演習 | 3 | 1 | | | |
| | | 日常生活支援論 | 3 | 1 | | | |
| 作業療法症例演習 | | 3 | 1 | | | | |
| 作業療法特別演習 | | 4 | 2 | | | | |
| 小計 (16) 科目 | | — | 20 | 0 | | | |
| 療法学 地域作業療法学 | | 地域作業療法学 | 3 | 1 | | | |
| | | 地域作業療法学演習 | 3 | 1 | | | |
| | | 生活環境支援論 | 3 | 1 | | | |
| | | 職業生活支援論 | 3 | 1 | | | |
| | | 小計 (4) 科目 | — | 4 | 0 | | |
| 臨床実習 | | 見学実習Ⅰ | 1 | 1 | | | |
| | 見学実習Ⅱ (地域) | 2 | 1 | | | | |
| | 評価実習 | 3 | 6 | | | | |
| | 総合臨床実習Ⅰ | 3・4 | 8 | | | | |
| | 総合臨床実習Ⅱ | 3・4 | 8 | | | | |
| | 小計 (5) 科目 | — | 24 | 0 | | | |
| 総合演習 | 卒業研究 | 4 | 3 | | | | |
| | 作業療法総合演習 | 4 | 1 | | | | |
| | 小計 (2) 科目 | — | 4 | 0 | | | |
| 合計 (107) 科目 | | — | 122 | 33 | | | |

卒業要件及び履修方法

基礎分野：必修 21 単位、選択 8 単位以上（うち選択必修 2 単位を含む。）、専門基礎分野：必修 35 単位、選択 1 単位以上、専門分野：必修 66 単位、計必修 122 単位、選択 9 単位以上の合計 131 単位以上を卒業要件とする。